

シニアの居場所を

提供し続けて三十年

NPO法人

船橋市時活村



船橋市時活村の人たちは「きょうよう」と「きょういく」がある。といっても、「今日用事がある、今日行くところがある」という意味です。
定年になると多くの人は行き場がなくなります。そういう時に居場所があればはつらつと生きることができます。

平成7年4月に創立し、シニアの居場所を提供し続けて30年を迎えたNPO法人船橋市時活村を紹介します。



目次

1. 時活村誕生のきっかけ
2. 活動の目的
3. 初代村長・杉本晴夫について
4. 時活村の活動の歴史
5. 主な活動内容と単純なルール
6. 行事内容
(村主催行事と一人一活行事)
7. 入村方法



1 時活村誕生のきっかけ

創設者故杉本晴夫が、定年となったサラリーマンが目標も目的も持てずに居酒屋にひとり寂しげに飲んでいる姿をみて、地域に仲間が作れて余暇時間を費やせる居場所が必要という思いを持ったことから始まりました。30年前は高齢化社会の始まりの時代です。

定年後20年ほどの余暇時間(人生85年、定年65歳とする)は、1日14時間として10万時間にもなります。

2 活動の目的

時活村は、家にこもらずに外で仲間と会い、語り合い、相互理解を深める場所を目的に活動しています。以下の3つに集約できます。

運動↓自分流のはずんだ生活を目指す
す市民活動

活動↓定年退職者の集える「場所」
の提供

行動↓村民一人一人が自由に一人一
活に参加

毎年5月のフォーラムに先駆けて、問題意識を問いかけるために、船橋駅や津田沼駅頭での案内チラシ配りを行っています。

3 初代村長・杉本晴夫について

1938年4月東京生まれ。幼少期から船橋で育ち、2019年5月81歳で逝去しました。

印刷会社に勤務したあと、船橋レク

4 時活村の活動の歴史

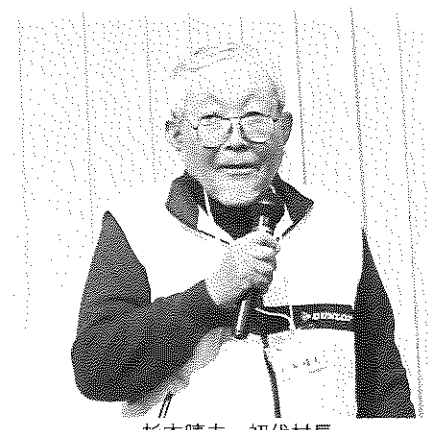
リエーション協会会長や船橋市老人大学(現市民大学の講師等を務め「定年後はガンバラナイ、はずんで楽しく生きよう」をモットーに、趣旨に賛同した数名と船橋市時活村を立ち上げました。(現在は星量男が第2代村長です)

ユニークな活動やネーミングに特徴があります。1995年(平成7年)に船橋市湊町のアパートの1室からスタートし、東船橋に事務所を構え、2012年に現在の習志野台1丁目に移転しました。

2013年には、NPO法人の認可を受けてNPO法人船橋市時活村として活動範囲も船橋市中心に周辺各市に拡大しています。

2003年に内閣府から社会参加章を受章、2017年に地域再生大賞特別賞を受賞しています。

1996年に第1回「卒サラを考え



杉本晴夫・初代村長



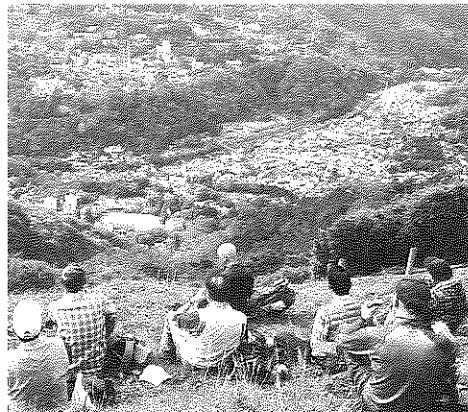
一人一活行事 自遊農園



一人一活行事 百歩千歩万歩千葉



一人一活行事 おやじの料理



一人一活行事 おやじの遠足

- 楽基クラブ (基会)
- 弾ゴロボウル (ボウリング)
- Viva!! キネマ (事務所内での映画鑑賞)
- お江戸・東京漫歩^{まんぽ}
- ゴルフ気楽
- 旬を食べようよ (季節の料理)
- 百歩・千歩・万歩千葉
- ペタンク一球逆転
- スポーツホラ吹き矢
- スポーツワナゲ「わ! 輪! 和!」
- トラキチ (阪神タイガースファンクラブ)
- G 愛倶楽部 (ジャイアンツファンクラブ)
- 自遊農園いも堀会 (年に一度の収穫祭)
- 音読・朗読で口八丁
- 大人の塗り絵
- 金ちゃん寄席 (落語漫才のDVD観賞)
- 歌声喫茶「時活村」
- けん玉で遊ぼう
- 愛LOVEマジック (手品を楽しむ会)
- のんびりゆつくり旅

(不定期開催の1泊旅行)

るフォーラム」を開催して今年28回目となります。

(ご参考)

行事に参加可能であれば居住地域に限定はありません。

村民市町村別には、船橋市、習志野市、鎌ヶ谷市、千葉市、八千代市、市川市、流山市、松戸市、佐倉市、市原市、東京都等。

令和7年1月末現在の村民数は240名 年齢は64歳〜90歳 平均年齢78歳です。

5 主な活動内容と単純なルール

何時でも、誰にでも開かれた村で入村退村は自由です。村民のボランティア精神によって活動して成り立っています。挨拶でも、過去の経歴を語らないし聞きません。

住まいと名前のみです。村民の間には上下関係はなく横のつながりのみです。

政治・宗教・商売を村に持ち込まないことです。村を利用するという発想が起こるとボランティアとは違う活動になってしまいます。

30年創立当初の理念を守り、村民一人一人に浸透して活動してきたことが継続できている大きな要因だと考えています。

村の運営は理事にあたる村議が行いますが、活動の中心は一活行事の世話人と世話人会です。

6 行事内容

(ア) 村主催行事

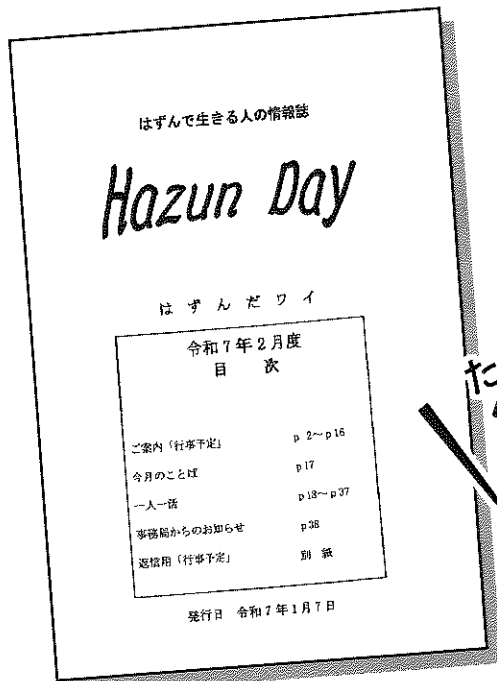
年間行事としては、4月長屋の花見5月はずんだフォーラム、7月暑氣払い、新村民オリエンテーション、10月いも煮会、12月忘年会があります。

(イ) 一人一活行事

一人一人が自分のやれそうなことを見つけて仲間を集めるといふ基本的な考え方に基づいて月間に40種の行事を

開催しています。それぞれにユニークな名前がありますので紹介します。

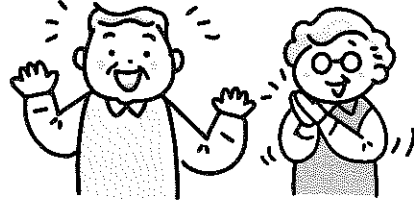
- 頭の体操 (麻雀)
- あっぱれパーク (パークゴルフ)
- 道草ディスク (フライングディスク)
- 歌って一番うた日和 (カラオケ)
- いちにいにいさんば船橋 (船橋周辺散策)
- 水中散歩 (プール)
- 自遊農園 (農園)
- 句会さざん花 (俳句)
- 井戸端会議
- カメラピンぼけ
- ピンポンで遊ぼう
- Bus De Bath
- (日帰り温泉バスツアー)
- 音声多重我楽隊 (ハーモニカ合奏)
- 笑っていい友 (落語観賞)
- おやじの遠足 (低山登山)
- 村民ショー・おくにことば
- おやじの料理
- 男のめし支度
- ことば遊び五七五
- ふるさと蔵元さんぽ (お酒を楽しむ会)



NPO 法人 船橋市時活村の定期刊行物。
はずんで生きる人の情報誌
「Hazun Day (はずんだワイ)」

船橋市時活村の 活動が紹介 されている 情報誌。

えっ、こんな
たくさん！



2024年10月 船橋県民の森でのいも煮会

NPO法人船橋市時活村

〒274-0063 千葉県船橋市習志野台1-11-1 八田ビル2階
TEL 047-402-2414 (月～金午前10時～午後4時)
Fax 047-402-2415 メール toi@jikatsumura.org
ホームページ <https://jikatsumura.org>

QRコード→



7 時代の変化

30年前と違うのは定年が延長したことです。定年後の行場探しは無くなったでしょうか？むしろ70歳から行先を探すことになっています。さらに健康問題が加わります。

健康であるための第一条件は、社会的なつながりがあると云われています。

社会的なつながりを求めて一人歩いているでもそうそう見つかるものではありません。

興味のあることを見つけ、そこに自分から入って行って仲間になる勇気も必要です。

船橋市時活村は、一歩外に出てみようというシニアに居場所を提供し、仲間づくりができて元気で生き活きた高齢者になるための道具となることを目指して活動しています。

賛同する方は是非ご連絡ください。

8 入村方法

左記の時活村事務局に電話またはメールで連絡ください。

NPO法人船橋市時活村

〒274-0063 船橋市習志野台

1-11-1 八田ビル2階

電話 047-402-2414

FAX 047-402-2415

Mail toi@jikatsumura.org

月～金 10時～16時まで

入村料…入会時 13,800円(入

村登録料10,000円、年

間村民税3,000円、保険

料800円)

2年目から5,800円(令

和7年度)

郵便局からお振込み

5月25日(日) 船橋FACEビルきら

らホールで「第28回フォーラム」の開

催を予定しています。7頁下のQRコー

ドから詳細を知ることができます。

時活村とは

サラリーマンなら誰もが経験する「定年」を考え始めた人から、現に定年になった人々が「定年」卒サラ」を基盤とした共通項でヒューマンネットワークを結ぼうという人の集まりです。

65歳から85歳までの20年間誰もがもつ「10万時間」の余暇時間(自遊時間)を「どう生きるか」を考え実践するために、一人ひとりが何か一つの活動を見つけ、自分づくり、仲間づくりをしながら地域社会へのソフトランディングを目指します。

